

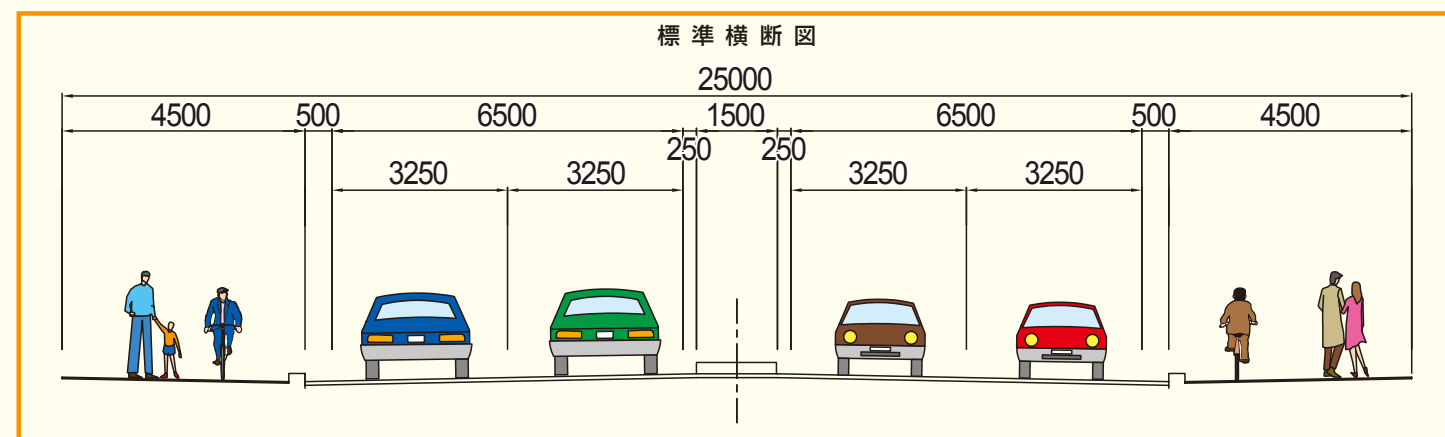
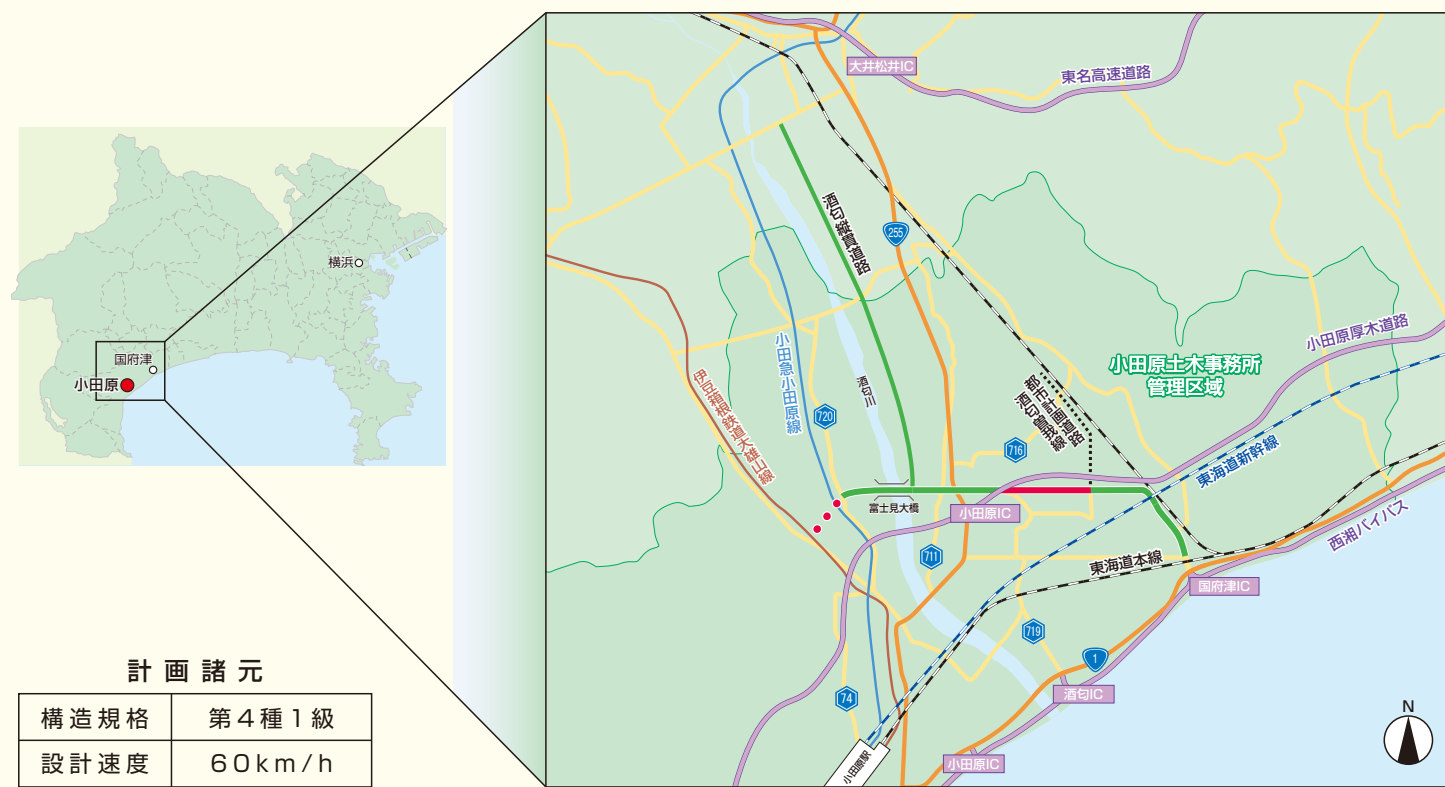
都市計画道路 穴部国府津線事業概要

都市計画道路穴部国府津線は、小田原市の外郭環状道路を形成し、酒匂縦貫道路とともに県西地域の道路交通ネットワークの骨格を形成する重要な幹線道路です。

昭和31年に国府津地区から穴部地区までの約6.2kmについて幅員12m(2車線)で都市計画決定され、昭和55年には、幅員が25m(4車線)に変更されました。

昭和53年度に事業着手し、巡礼街道から都市計画道路酒匂曾我線までの約2km区間については、平成16年度までに供用を開始しています。また、平成21年3月には酒匂川に架かる富士見大橋を含む県道717号(沼田国府津)から県道720号(怒田開成小田原)までの約2.3km区間が供用を開始しました。

平成23年5月に酒匂堰に架かる下堀橋を含めた約1.3km区間の整備が完了し、巡礼街道から県道720号(怒田開成小田原)までの約5.6km区間が供用します。



人やものが活発に行きかう交流ネットワーク ~小田原環状道路の整備~

